システムコントロールフェア2011

きょう開幕！

18日まで　東京ビッグサイト

「システムコントロールフェア2011（SCF2011）」がきょう16日から18日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト西1・2ホールで開かれる。同展にはFAシステムやソフトウエア、FA用制御機器、コンポーネントなど、モノづくりのための幅広い製品・技術が一堂に会する。主催は日本電機工業会（JEMA）と日本電気制御機器工業会（NECA）。今回は138社・団体が出展。入場料は一般が1000円、学生は無料（招待券持参者およびウェブサイトからの事前登録者の場合は一般も無料）。

最先端の情報発信

最新のFA機器・技術・ソリューションが一堂に

ファクトリーオートメーション（FA）は〝モノづくりを自動化する〟というところからスタートした。生産ラインを構成する機器、コンポーネント、ロボット、制御システム、それらをつなぐITネットワークなどの進化で、現在、FAはコストダウンや高効率生産、安全性の向上、さらには環境負荷の低減といったモノづくり現場が直面している課題を解決するソリューションとなっている。

FAに関する最新の製品・技術、サービスが一堂に会する展示会がシステムコントロールフェア（SCF）だ。1988年の第1回開催から、隔年開催し、今年で16回目の開催となる。

同展の開催要旨の中に〝FA分野を始めとする広く産業分野の自動化・制御に関わるシステム、コンポーネント及びソフトウエアに関して、『環境・安全・安心を創造』をテーマに、「環境」「安全」「安心」「ものづくり」をキーワードとした最新の技術情報を発信する〟とある。この要旨を受けた今回のメーンテーマは「ものづくりの先端技術が集う　環境・安全・安心を創造」だ。

同展で出展対象となっているのは生産ラインの制御機器やドライブ機器、安全関連機器、高速高機能ネットワーク機器などの省エネ・創エネを支援する製品や技術、システムソリューションである。

具体的にはプログラマブルコントローラー（PLC）やプログラマブル表示器（PD）といったFA関連機器、さらにはソフトウエア、自動認識・検査装置、駆動制御装置、アクチュエーター、インバーター、モーター、電源装置、安全制御機器、IT応用システム・機器など。生産現場のFA化を進める上で、必要なもの、全てをカバーしている。

技術講演会では省エネ化が主なテーマ

いま、モノづくり現場はいくつもの大きな課題に直面している。「環境負荷を低減するモノづくり」や「安全なモノづくり」への取り組みはいうまでもない。さらに、今年3月に発生した東日本大震災と福島の原子力発電所事故で、生産時の省エネ化をこれまで以上に意識して進めなければならない。

こうした状況を背景に、併催事業として会期中に、東京ビッグサイト会議棟7階の701・702会議室で行われる「技術講演会」は環境負荷低減のための技術や、生産時の省エネ化といったものが主なテーマになっている。

今回は16日15時からの「ドライブ技術を活用した環境エネルギー分野への取組み」や、17日13時からの「実証実験から生まれたスマートコミュニティのあるべき姿」、同日15時からの「ゼオライト膜の活用による省エネと環境対策」に注目したい。受付は当日で開場で。受講料は無料。

計測展との連携企画「ラウンドテーブルセッション」を中継

会議棟の703会議室では会期中3日間にわたってオープンセミナーが開催される。16日のテーマは「〝見える化〟エネルギー管理」である。生産工程の省エネ化を進める場合、ラインの稼働状況やエネルギーの使用状況を把握すること、つまり〝見える化〟することがカギになる。そこで消費電力などのデータ収集から、監視・管理に到るまでを行う工場エネルギー管理システム（FEMS）を利用するのが有効だ。15時からの「FEMS起点のエネルギー需給バランス・生産統合ソリューション」は聞き逃せないだろう。

今回のSCFは東ホールで開催される「計測展2011 TOKYO」と相互入場システムが採られている。計測展の来場者はバーコード読み取りチェックだけでSCFに入場することが可能だ。

17日14時からのオープンセミナーでは計測展会場から「ラウンドテーブルセッション」がライブ中継される。ラウンドテーブルセッションで討論されるテーマは「次なるエネルギー技術と未来社会／日本の復興に向けて」。

登壇者は資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新産業・社会システム推進室の小宮山康二室長、イーソリューションズ社長で「東日本大震災政府復興構想会議」の佐々木経世委員、日産自動車ゼロエミッション事業本部ZEV企画グループの牧野英治部長、日本電気工業会（JEMA）の松尾慶一重電部長、それにJEMIMAエネルギー・環境政策委員会の石隈徹委員長。日経BP社執行役員の浅見直樹ビジネス局長がファシリテータを務める。

大学・高専研究発表コーナー12校が参加

出展者がシステムコントロールに関する将来的動向や応用技術動向について製品PRを行うワークショップも毎回、好評を得ているイベント。今回のワークショップも、PLCやインバーターなどの製品から、フィールドバス、通信ネットワーク、さらには巨大な市場となっている中国における機械安全の話題に至るまで、FAと周辺機器・技術に関する最新情報を紹介する全12セッションが東京ビッグサイト西1ホール2階の特設会場で行われる。オープンセミナー、ワークショップも受付は当日、会場で行う。受講料は無料だ。

一方、「大学・高専研究発表コーナー」では高専、大学、大学院研究室が生産システムや制御などにおける最先端研究の成果を紹介する。このコーナーには長岡技術科学大学工学部電気電子情報工学科伊東研究室による「グリーン社会を目指す高効率電源技術」や、三重大学産業・社会インフラ施設安全技術研究センターの「設備安全・安心のための最新設備診断技術および設備診断システム」、千葉大学大学院工学研究科電気電子系コースによる「低ノイズ超小型マルチレベルインバータ」など、12大学・高専が参加する。

ごあいさつ

環境・安全・ものづくり　キーワードに

システムコントロールフェア実行委員会　会長
奥野　嘉夫

システムコントロールフェアは、1988年に「ハイテク時代の産業システムを考える…情報と設備の調和」をテーマとして第1回を開催し、以後、常にFA分野をはじめ、広く産業分野の自動化・制御に関する最新情報をご提供し、国内外の皆様から高い評価をいただいてまいりました。

16回目となるシステムコントロールフェア2011は「環境・安全・安心を創造」をテーマに、「環境」「安全」「ものづくり」をキーワードに開催いたします。

また、3月の東日本大震災による被災地の一日も早い復興と、震災により停滞した日本経済の活性化に向けて「がんばろう　日本のものづくり」を緊急テーマに掲げ、人と環境に配慮し、最適な制御システムおよびソフトウエアからコンポーネントまでを一堂に集め、社会と産業の未来へ向けて最先端技術の情報について広くご提供いたします。

ぜひ、ご来場賜りますようご案内申し上げます。

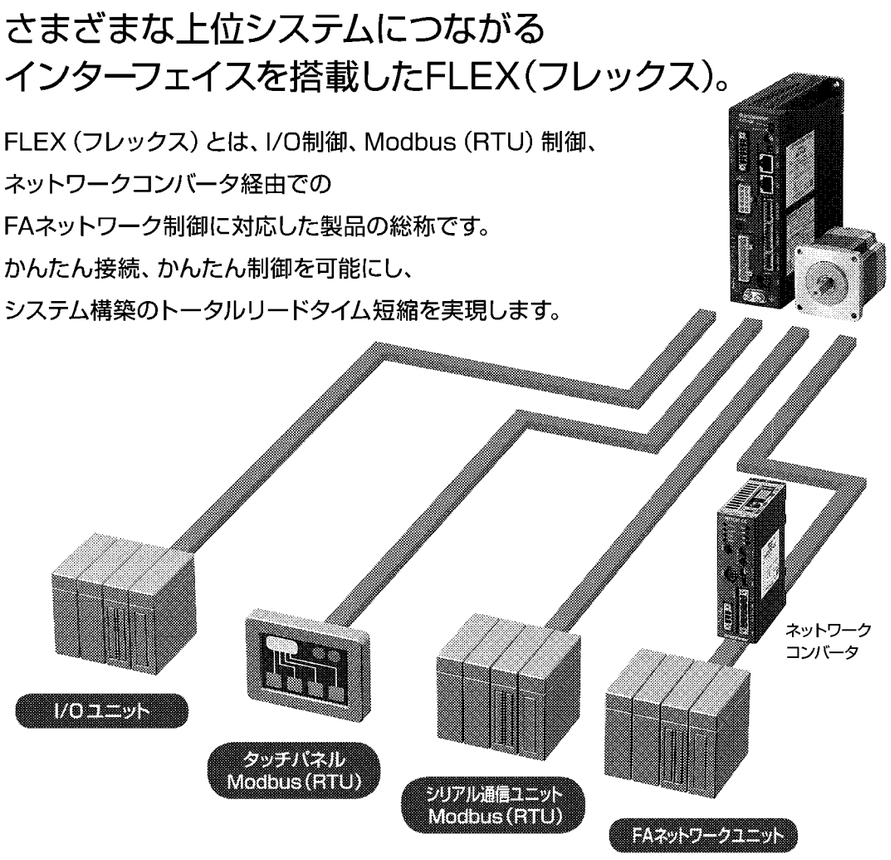
●技術講演会プログラム（会議棟7階　701・701会議室）

11/16(水) テーマ：ドライブ	13:00～13:50	三菱電機㈱	インバータによる磁石モータのセンサレス駆動技術
	14:00～14:50	東芝シュネデール・インバータ㈱	汎用インバータによる高効率PMドライブ
	15:00～15:50	㈱安川電機	ドライブ技術を活用した環境エネルギー分野への取組み
11/17(木) テーマ：省エネ	12:00～12:50	㈱日立製作所	日立スマートファクトリー化計画の概要 ～BCP対応を強化する分散型エネルギーマネジメントシステムの導入～
	13:00～13:50	富士電機㈱	実証実験から生まれたスマートコミュニティのあるべき姿
	14:00～14:50	オムロン㈱	工場まるごと見える化によるエネルギー削減への挑戦
	15:00～15:50	㈱明電舎	ゼオライト膜の活用による省エネと環境対策
11/18(金) テーマ：ものづくり	12:00～12:50	パナソニック電工SUNX㈱	安全システムの規格と技術動向
	13:00～13:50	IDEC㈱	産業用LED照明導入に関する動向と最新技術 ～工場全体LED照明から産業機器用LED照明化による省エネ・生産性・安全性の追求～
	14:00～14:50	㈱山武	サファイア隔膜真空計

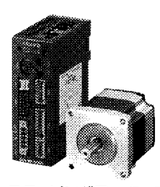
システムコントロールフェア2011に出展
2011年11月16日(水)～18日(金)
東京ビッグサイト ブースNo. 西1ホール 1-50

さまざまな上位システムにつながる
インターフェイスを搭載したFLEX(フレックス)。

FLEX(フレックス)とは、I/O制御、Modbus(RTU)制御、
ネットワークコンバータ経由での
FAネットワーク制御に対応した製品の総称です。
かんたん接続、かんたん制御を可能にし、
システム構築のトータルリードタイム短縮を実現します。



ステッピングモーターユニット αSTEP
ARシリーズ FLEX
AC電源入力
位置決め機能内蔵タイプ



ステッピングモーターユニット αSTEP
ARシリーズ FLEX
DC電源入力
位置決め機能内蔵タイプ

5相ステッピングモーターユニット
CRKシリーズ FLEX
DC電源入力
位置決め機能内蔵タイプ

オリエンタルモーター株式会社　www.orientalmotor.co.jp